

尾張旭市公共交通のこれまでの取組みについて

1 はじめに

本市の公共交通に関しては、これまでも市議会や委員会において、度々議論がなされ、その仕組みづくりの過程においても様々に意見や要望が出されてきた。

一方で規制緩和の流れから平成14年2月には道路運送法が改正され、乗合バス事業者が新たに事業に参入することが容易になった反面、これまでの路線バス運行事業からの撤退がしやすくなったという状況も生み出した。こうしたことなどにより、地方自治体において市民の日常の足を確保するという必要性が大きくなり、市町村が関与するコミュニティバスが各地域で展開されるようになった。

本市では、平成16年度以降、前述した市議会等の議論などのほかに尾張旭市における生活交通のあり方について、尾張旭市交通問題懇話会（開催状況は別紙1」を参照）を開催し、市民等からも幅広い意見をお聞きした。

こうした、議会関係者や市民等から種々のご意見をいただくなかで、平成16年12月から、主な利用者として歩ける人、元気なお年寄りを想定して、市内の交通空白地を通り、通院、買物、鉄道駅などへの利便性を確保するため、3つのルートを9人乗りのワゴン車を使って試験運行を開始した。その概要は次のとおりである。

ル　　ート	西ルート、東ルート、南ルートの3ルート（現在は南西ルートを加えて4ルート）
主な経由地	病院、スーパー、鉄道駅
停　留　所	概ね500mごとに設置
車　　両	9人乗りワゴン車（運転手を除く）
運　　賃	1回乗車ごとに100円 ※未就学児童及び障害者の介護人は1人無料

2 試験運行の状況

現在に至るまでに、大きなルートの見直しを平成17年8月及び平成18年8月の2回行った。その概要は次のとおりである。

(1) 第1期（平成16年12月1日～17年7月31日）

開始当初の12月は、1日当たり平均134人の利用があった。その後、利用者数は、月を経るごとに増加し、第1回目の見直しを行った直前の17年7月には、1日当たりの平均利用者数は212名となり、当初に比べて6割近く利用が伸びた。また、各ルートの利用状況では、西ルート、東ルートに比べて南ルートの利用が少ない状況であり、更なる利用増進が課題となっていた。

(2) 第2期（平成17年8月1日～18年8月6日）

第2期では、第1期で課題とされた南ルートについて、重点的に見直しを行った。具体的には、名古屋市営バスのターミナルがある緑町の本地ヶ原住宅に停留所を設置するとともに、尾張旭市民も多く利用される長久手町の愛知医大に乗り入れを行った。この結果、南ルートにおいては、第1期の1日当たり平均利用者が約30人であったのに対し、第2期のそれは55人となり8割以上も、利用者数が伸びた。また、それに合わせ、西及び東ルートにおいても相乗的に利用者数が伸びて、1日平均ではそれぞれ100人強の利用となった。

こうしたなかで、乗り継ぎの利用者数が多くなったことや、車両定員を超えたときの積み残し対応のタクシー利用者の増加、また、運行頻度の充実や未運行地域からの要望など各種の課題が生じてきた。

(3) 第3期（平成18年8月7日～現在）

尾張旭市では、健康のまちづくりを推進しており、利用者アンケートなどではこの仕組みにより、外出する機会が増えたといわれる方が利用者のうち6割を占めていた。こうしたことから、この取組みが本市のまちづくりにも大きく寄与している状況が伺われる。このため、この仕組みをより多くの方々に活用してもらえよう、最初のルート見直しから概ね1年が経過した平成18年8月7日に再度、ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充した。これにより、見直しから、平成19年7月末までの1日当たりの平均利用者数は、約320人となり、第2期の260人を60人ほど上まわっている。

(4) 利用者数の推移

別紙2参照

3 本格運行への移行

こうした2年以上に及ぶ取組みのなかで、当初は、この仕組みが市民にどう受け入れられるか不安感もあったが、運行し始めた以降の状況を見てみると、利用者も順調に伸び、車窓からは市民の笑顔があふれている。車内での乗客同士の会話も活発に行われ、さながら「走る井戸端会議」、「動く公共施設」の様相を呈している。また、「まちづくりアンケート」の公共交通網の満足度でもこの仕組みがなかった当時の平成14年度（平成15年1月実施）には、48.8%であったものが、平成16年度（平成17年1月実施）には55.6%、平成18年度（平成19年1月実施）には67.7%と順調に数字を伸ばしている。

こうしたことから、本市においては、この公共交通を道路や電気、ガス、上下水道と同じように市民にとって必要な公共的なインフラと位置付け、平成19年度中に本格運行に移行させるよう準備を進める。

4 本格運行への課題

本市のコミュニティバスの取組みは、前述のように健康都市のまちづくり「外に出かけたくなるまちづくり」に資するものとして大きな役割を担っている。

当初は、市内の交通空白地を解消することからスタートした取組みであったが、第3期のルート見直しで概ねこの目標が達せられた状況のなかで、今なお、様々な課題も残されている。

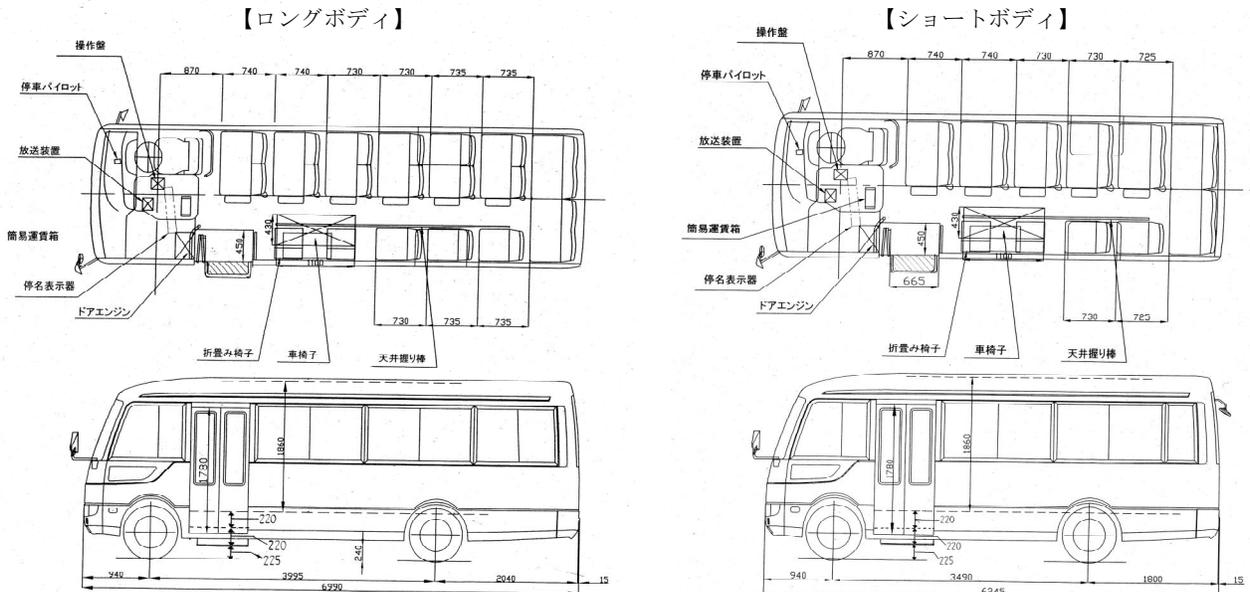
《主な課題》

- ・ 積み残しの発生
- ・ 愛着性の確保
- ・ 運行経費の圧縮、財源の確保
- ・ 運行頻度の確保

こうしたなかで、運行頻度の改善は、多くの利用者からご意見をいただいたところであるが、これは、運行車両の増車、場合によればルート増を伴い、経費の増大に直接的に影響し、現在の財政状況のなかで、直ちに対応可能ということにはならない。そのため、この運行頻度の改善を中長期的な目標と位置付けた上で当面の本格運行では、他の課題についてその改善策を模索していく。

5 本格運行の姿

この仕組みを市民にとって必要な公共的なインフラと位置付けてはいるが、それをもって、直ちに全ての課題を克服するというにはならない。よって平成19年度中の本格運行では、東西のルートをマイクロバスに切替えて、積み残しの解消を行うとともに、愛着性を増進するため、愛称や車両のデザインを市民公募で募集をしていく。また、運行経費の安定的な確保を図るために、協賛金や広告収入の導入を検討していくこととする。



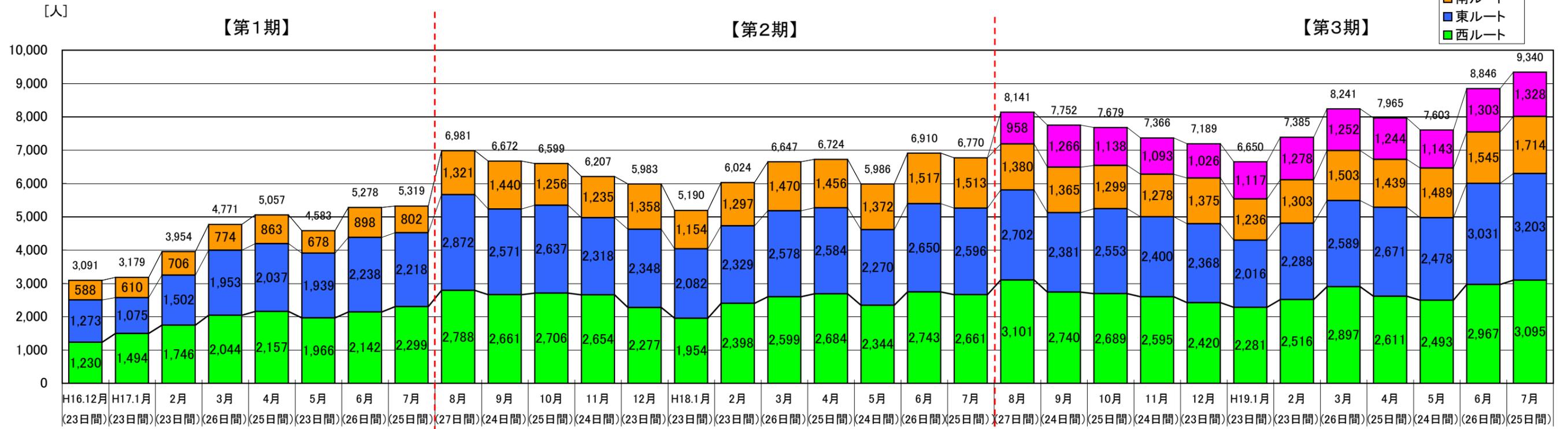
尾張旭市交通問題懇話会 開催状況

年度	回	開催日	主な検討内容	
16	第1回	H16.5.28	<ul style="list-style-type: none"> ・懇話会の設置趣旨等について ・構成員(希望者)による事務局作成の叩き台ルート(2ルート、ループ案)について試走を行うことので了承 ・構成員へもルートの提案を依頼 	
	第2回	H16.6.24	<p>(開催前に構成員による西・東ルートを試走)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験運行の開始を平成16年11月頃からとする。 ・ルート案については、乗車時間が短く(30分程度)で済む案をベースとする。 ・30分乗車のルート案では、北部や南部などの交通空白地を全部補うことができないので、高齢者の居住が多く、利用が見込める北部地域を対象とすることを次回に確認。 	
	第3回	H16.7.9	<ul style="list-style-type: none"> ・30分乗車で交通空白地等を補おうとすると、ループ案では困難。 ・2台で3ルートを運行すると、1時間から2時間間隔で運行ができるので、この案を基本線とする。 ・停留所の位置の叩き台及びルート案についてグループワークを実施。 	
	第4回	H16.7.27	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートや停留所案をいろいろ組み入れると、30分の提示走行は不可能になるので、構成員と実際に各想定ルートを実走して決めていく。 ・料金については1回あたり100円が望ましい。 	
			H16.8.3、6	3ルートの試走体験
	第5回	H16.8.17	<ul style="list-style-type: none"> ・試走で1ルート30分での走行は厳しいことが判明。 ・運行間隔を45分とすると、3ルート2台は試験運行案としては利用しにくい。 ・運行開始時期や運休日を見直し、3ルート3台で実施することが望ましい。 	
	第6回	H16.9.22	・試験運行案の概要を説明	
	第7回	H16.10.25	・利用促進等について、グループに分かれ意見を取りまとめて発表	
	第8回	H16.11.16	<ul style="list-style-type: none"> ・試験運行開始前及び開始後のスケジュールの確認 ・アンケートの実施について意見のとりまとめ 	
			H17.3.14~16	・市内の主なスーパー(7店舗)の前でチラシを配ったりのキャンペーン実施
第9回	H17.1.26	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の確認 ・利用者のアンケートについて 		
第10回	H17.3.22	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の確認 ・アンケート結果 ・利用者意見のまとめ 		

尾張旭市交通問題懇話会 開催状況

年度	回	開催日	主な検討内容
17	第1回	H17.6.20	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度8月に見直しを実施予定 ・利用状況の確認
	第2回	H18.3.23	<ul style="list-style-type: none"> ・次回ルートの見直しの検討 ・今後の課題の抽出とスケジュール案
18	第1回	H18.4.21	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート見直し案について ・広告、協賛の方法について提案 ・回数券等の利用券についての検討
		H18.5.16～19	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しルート案の試走
	第2回	H18.5.26	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しルート案の確認 ・回数券の発行を検討
	第3回	H18.10.3	<ul style="list-style-type: none"> ・積残し解消のため、新車両導入を前提に候補車両(日野ポンチョ・トヨタハイエース通勤用)の展示、試乗を実施 ・利用状況の確認 ・マイクロバスでの試験運行実施計画
	第4回	H19.1.19	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロバスの試験運行の状況 ・車両について(三菱ローザショートタイプ展示、試乗) ・デザイン、愛称の公募を実施予定
	第5回	H19.3.23	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度の利用状況の確認 ・マイクロバスの導入について
19	第1回	H19.6.25	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、愛称について

利用者数の推移



1日平均利用者数の推移

